

三笠ニューズ

発行所
東京都千代田区築港町 1-4-3
三笠産業株式会社
電話 東京 (292) 1411 大代表
テレックス 222-4607
郵便番号 101
PR 旬報 年 4 回発行

新年明けましてお目出度うございます。皆さまにはお揃いでよい年をお迎えになったことと存じます。旧年中は三笠の製品に格別のご愛顧を賜り有難く御礼申し上げます。三笠産業といたしましては、また私個人といたしましては昨年が多事多難な年でありました。まことにアツと言ふ間の一年であつたと言ふのが偽らざるところの実感であります。

三笠産業の創業者である会長を失う不幸に遭遇いたしましたものの、これにまさか動することなく、結束を固め業績の向上に只邁進したことのできたのも偏に皆さまの日頃の愛顧のおかげと感謝いたします。

昨年は三笠の製品のなかでも大きなウェイトを占めるランマーとコンパクターのグループに新しい製品を投入した年でありました。ランマーに於いて従来の潤滑方式のグリスを主体としたものから、はじめてオイルバス式のものを採用いたしました。これを三笠の伝統ある技術によりメンテナンスフリーの使い易いランマーとして完成させました。一方、コンパクターは従来の三笠が進めて参りました前後進自在型のパイロコンパクターのシリーズ化を計り、軽量級のものを登場させました。お蔭さまでいずれも国内は勿論のこと海外からも大きな反響を呼びました。



賀正

三笠産業株式会社
社長 京谷 達也

高周波パイプレータをはじめとする従来の製品にこれらに加わり本当の意味での戦力を発揮するのは今年だと思ひます。厳しい国際情勢に加えて国内では建設不況が深刻化しておりますが、昨年は皆さまのお蔭をもちまして業績は順調に推移し、まずまずの成績を収めることができました。今年はこれらの実績を踏まえて、従来の製品は更なる見直しを計ると共に、輦圧機械部門に於いては画期的な新製品を計画しております。またパイプレータ部門も同じく新製品を登場させて参る所存でございます。なにとぞご期待下さいませ。

政治倫理問題を争点として戦われた総選挙の結果、国民の厳しい批判を受け、自民党は解散前の議席を大きく下まわり、与野党の勢力は伯仲と言ふことで、今後の政局は流動化が予想され、中曽根政権にとっては予断を許さぬ厳しい局面を迎えることにならう等と報道されておりますが、国民としても本心に目を光らせなければならぬのはこれからであります。ともあれ私共は一日も早い景気の回復を望むものでありまして、折角兆しの見えて来た回復気運に水をさすようなことがあつてはならないと思ひます。

三笠も全力投球をいたします。何卒皆さま方に於かれましてもお引立の程お願い申し上げます。

タンピングランマー MT-50型



(高圧ケーブルの埋戻し 札幌にて)

軽量強力 生かして各地で 大活躍

昨年の夏、登場したオイルバス式のタンピングランマー MT-50 型は外形寸法が小さく、一人でも持ち運べる程の目方であることに加え、跳びはねる高さが大いので、その重量に比較して大変に強い締固め性能を発揮することができた大きな特長を持っています。また大きくジャンプするので、含水比の多い現場でも作業が比較的容易にできるのも特長の一つに数えられています。MT-50 型ランマーは溝のなかでの埋戻し作業に、また表層仕上げにと多目的に使われているが、各地から寄せられた MT-50 の仕事ぶりをお伝えします。

札幌市

基礎の目のように縦横に整然とした広い道路が走る人口 150 万の大都会札幌。ここも年毎に交通量が増え、札幌の市街を走る国道の鉄道の踏切の踏切が交通渋滞の一因ともなり、当局としても悩みの種となっている。その解決策として札幌市内の国鉄線路を高架にする作業が始まったが、その作業に伴い、鉄道路線に並行して通っている道路にある電柱の 6600V の電線を地中に埋設する工事が目下進行中である。

北海道電力関係の高圧ケーブル埋設工事を主体として道内一円にかけて工事を請負っている御田電設工業さん(札幌市白石区平和通り十二丁目北五ノ二九 宮田定次郎社長)の現場を今回訪ねて見た。

この現場は札幌駅より函館本線を小樽方面に向って三つ目、琴似駅の近くの鉄工団地の道路。鉄道に沿った幅員 10m の道路の端に 90cm の幅で深さが 160cm の溝を掘り、そのなかに直径 14cm の高圧電力ケーブル 2 本を 600mm の距離に亘って埋設する工事である。この道路は交通量が多く、車が激しく行き交っている。このため道路を閉鎖して他所へ迂回させるわけにもゆかず、往復する車線の道路幅を狭めて工事を進めているので、大いに神経を使っている。

一ヶ月分としてこなす工事は 27.5m と指示があり、十一月もなると日の暮れるのも早く、薄暗くなりはじめ、防寒衣を着ていても足元の方からは寒気が這いつくかってくる。しかし、作業をしている人達はうすうす汗を流しては、安全に仕事を進め、安全第一、完璧な工事、迅速な作業、一糸乱れぬチームワークで作業を進めて行く。溝の底に高圧電力ケーブルを設

山形県寒河江市
58 年度の新製品、オイルバス式の軽量高性能ランマー MT-50 型をいち早くお使いになった御田電設工業さん(山形県寒河江市、社長 御田孝義氏)をお訪ねし、使用状況と感想を伺った。

宝工務店さんは寒河江市の上下水道工事指定店で、設備工事のすべてを広く手掛けていて、お客様はもとより役所からの信頼を置いた後に山砂を入れて、MDR-7G 型振動ローラを使って順次締固め、この厚みが 1m になつたところで、この上に更に砕石を 55cm の厚さに撒布する。これからのよいよい MT-50 型ランマーの登場で MDR-7G ローラと交互に使って砕石を十分に締固め、最後は MDR-7G を使って仮舗装。そして仕上げという工程である。MT-50 型ランマーを使う以前は MDR-55 型ランマーを使っていたのだが、故障の少ない稼働率の良い三笠ランマー、連日の作業によく耐えて来たが、そろそろここで買替えを考えていた矢先に三笠ニューズで MT-50 型の記事を読み、目方が 52kg と軽く扱い易く、輦圧する力は 80kg 級のハイジャンプランマー MTR-80H に匹敵する能力があることを知り、早速これを購入したとのことであった。作業員が一人で MT-50 型ランマーを抱きかかえるようにして軽々とトラックから降ろす。軽量小型、そして重心位置も低く安定がよいので見ていてもいかに作業がやり易そうであり、軽くて大きなジャンプで MTR-80H ほどの輦圧力があるので、砕石はみるみるうちに平らに締固められてゆく。

宮田社長は、入念な仕事をすることは必要不可欠なことであるが、この MT-50 のように軽くて輦圧力があれば申し分ない。さまざまな現場に充分対応できるランマーだと思ふと話されてきた。また実際に作業に当たった方達からも同様の評価を頂くことができた大変嬉しかった。しっかりと質の高い仕事をなさる宮田電設工業さんが益々発展されるよう心からお祈りします。

札幌出張所 小野記

も厚い。MT-50 は軽量で強力と言ふ特長を生かして漏水修復現場で使われるのが一番多いところである。掘返して水道管の漏水箇所を修理が終わる川砂で埋戻し水締めしたその上から、20cm の撤厚の川砂を MT-50 を使って締固め、各層毎に繰返すこと三回。更に砕石を入れて輦圧。アスファルトで仮復旧、と言ふ具合である。漏水事故は自動車の振動等で増加し、予告なしにおきる。早急に対処する必要がある。手軽に準備し現場に駆けつけられる装備があれば作業時間も短くて済む。それだけに MT-50 型のような軽くて、力強い MTR-80 型級のランマーはピッタリと言ふものだ。

今まで大きなランマーを使い慣れていたのに、比較的大きな現場では心理的には小さくてなんとなく頼りないような気もした。

(漏水の修復に活躍)

九州の玄関福岡、最近では国際マラソンで瀬古利彦選手が活躍し全国から熱い目差しを浴びた福岡市。今この街では至るところで下水道本管の埋設工事が行われている。

東亜建設さん(福岡市南区市崎一丁目 三浦勝彦社長)は傾斜地の多い場所の下水道管理設計で、第一号機を使って能率をあげている。傾斜地の多い現場では深い所で 2m 以上掘下げ、これを 30cm 毎に埋戻し締固めをやるので、その都度溝のなかからランマーを道路路上に持ち上げるが大変なので、軽くて力の強い MT-50 を、言うことで三笠のランマーを使った。従来は 80kg 級のランマーを使っていたが、かりでの仕事となっていたが、



(溝のなかでも軽量強力な作業ぶり)

MT-50 型では一人で作業でき、大きく跳びはねて輦圧力も 80kg 級のランマー以上のものがあり、能率がアップしたと喜ばれている。特に管理設計工事の今回のような狭くて深い現場ではその能力をフルに発揮して、現場の方達からもその作業性能を高く評価されている。溝のなかではない普通の作業の時には、ハンドルが小さく広げられるようになると、更に安定感があり使いやすいと増すのではないかと、現場のご意見を頂いた。三浦社長は景気低迷の昨今、良質で廉価な機械をとの要望があり、努力することを約した。

東亜建設さんのご発展をお祈り致します。

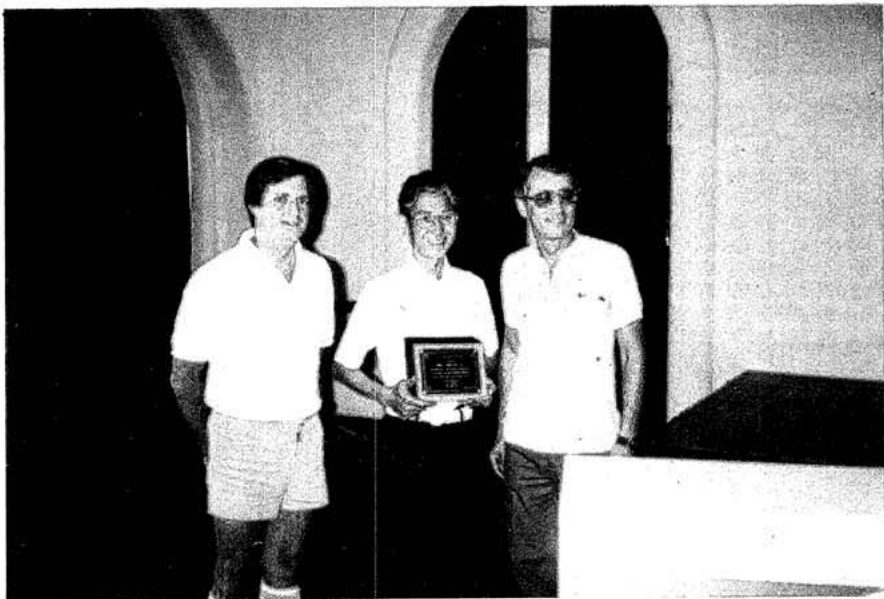
三笠建設機械九州出張所
加藤記

が、使い込んで見ればそんなこともなくなると思ひます。お忙しいところご協力頂いた宝工務店さんのご発展を祈ります。

仙台出張所 小笠原記

マルチクイップ社全米セールスマネジャー表彰式典行なわる

京谷社長夫妻が出席 三笠との緊密さらに深まる

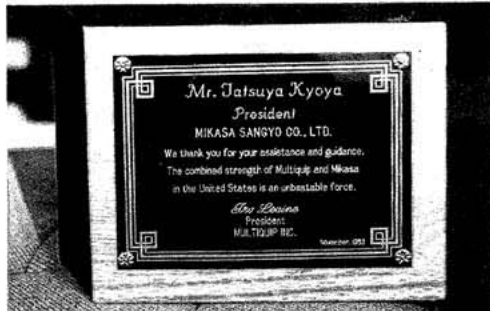


(マルチクイップ社からの感謝の楯を手にする京谷社長(中央)、右レベーン社長、左パトナム副社長)

アメリカ国内で三笠のランマ・コンパクターをはじめローラーなどの製品を一手に取扱っているロスアンゼルス・マルチクイップ社は、この程同社傘下の全米優秀セールスマネジャーの表彰をメキシコのマンサニヨ市ラスアダスホテルで行った。メーカとしてこの式典出席の招待を受けて三笠産業から京谷社長夫妻が去る十一月十五日成田を発ち、ロスアンゼルスではマルチクイップ社にレベーン社長を訪ねて絶好調な業績の伸長に深く謝意を表するとともに、開発中の新製品について意見の交換をおこなった後、市内の建設現場を視察し、随所に見られ

る三笠製品の活躍に大いに意を強くした。その後十八日にマンサニヨに入った。十一月十九日、式場となったラスアダスホテルには、全米各地からこの日晴れて表彰を受ける優秀セールスマネジャー達が何れも夫人帯同で集っていた。席上、マルチクイップ社レベーン社長から、京谷社長の協力と指導に感謝し、両社の強い連帯は何ものにも勝る大きな力である。と彫り込まれた楯が贈られ万雷の拍手を浴びた。京谷社長はレベーン社長の卓越した手腕と努力を称え、今日の発展を遂げる礎となったセー

ラスアダスホテルでのレベーン社長夫妻と京谷社長夫妻のなごやかな晩餐風景



(マルチクイップ社から贈られた感謝の楯) 表示、併せてメーカとして一層の協力を約する旨の挨拶を述べた。続いての懇親のパーティーはアメリカ人らしい陽気で楽しさの溢れるものであった。京谷社長夫妻は三笠、マルチクイップ両社の緊密な関係を更に深め、親善の実を挙げて十一月二十六日帰国した。

南国鹿児島で MVC-240D 前後進自在型 バイブロコンパクター 省力化に貢献



南国鹿児島市で電話線の敷設工事に空冷ディーゼルエンジンを用いたMVC-240D型バイブロコンパクターが活躍している。この工事は同軸ケール方式と呼ばれる土木工事、MVC-240Dは生業通信建設さんと松尾工業さんで使用する、MVC-300Dは武井組さんが使っている。作業現場は国道3号線が鹿児島市内へ入る辺。歩道の部分に85cmの幅で深さ2.5mの溝を掘

り、ケーブル管を埋めた後の締め固めにバイブロコンパクターが使われている。路面から0.8m下ったところまで埋戻して先づ第一回目の輻圧が始まる。前後進がスムーズに行えるので溝のなかでも一人で仕事ができる。更に二軸偏心振子から発生する大きな遠心力で、ランマーよりも密度の高い均等な締め固めができる。そもそも三笠のバイブロコンパクターを導入したのは、充分な締め固め作業をすることにより沈下等を防ぎ、後々の補修に手間をかけないで道路の維持を行うと

言う目的に添った機械だったからである。実際に作業してみると予想を上まわり、80kg級のランマーで作業をしていた当時は、撤去20cm毎に四回往復して締め固めるといふことを基準として作業を行うには、一台のランマーに二人がかりの作業で、かなりの重労働であったが、バイブロコンパクターを使えば、作業も一人で行うことができ、作業も楽になりゆとりができた。軽油を燃料としているので運転経費も下がった。燃料補給の手間が省けたのが大助りのこと。この辺は現場の人の実感がこもっていると思っ

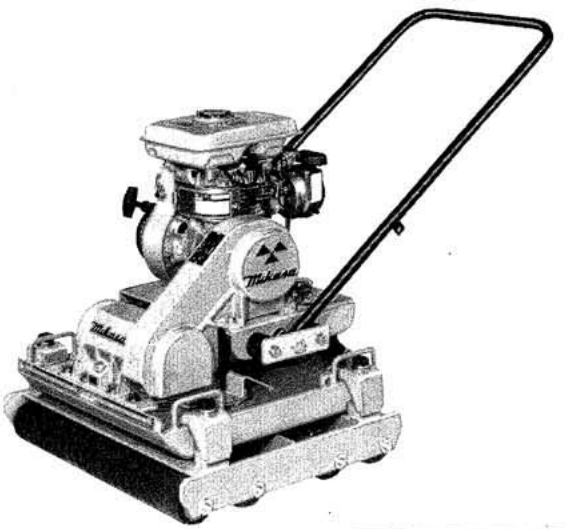
た。トラックへの積み降しを容易にするための軽量化。強振動に耐えるネジ類の緩み止め処理を更に大幅に採り入れる。Vベルトの耐久力の向上等のご要望も承ったことを併せて報告します。三笠建設機械(株) 九州出張所 原田記

京谷社長 長男 弘也氏 結婚

三笠産業(株)京谷社長の長男弘也氏(25)と野見山栄二氏の次女まき子さん(24)は、去る十月十五日(土)午前十一時、東京虎の門のホテルオークラの結婚式場に於いて、三笠産業(株)専務取締役館林工場長小林常次氏ご夫妻の媒酌により、めでたく華燭の典を挙げた。引き続き十二時三十分より同ホテルの間に取引関係、友人知己、会社幹部等多数の方々をお招きして披露宴が催され、皆さま方の心からなる祝福を受けて輝かしい人生のスタートをきった。新郎の京谷弘也氏は昭和三十三年生れ、五十五年三月関東学院大学経済学部経営学科を卒業、直ちに住友グループの住商機電貿易(株)に入社、自動車部に配属。その間戦乱下のイラクパキスタン市での約半年に亘る厳しい現地で海外勤務も経験し国際感覚と逞しさを身につけた。ゴルフ、テニス、ヨット、サーフィンをなんでもござれのスポーツマンである。五十八年五月、三笠産業本社に入社、六ヶ月間の工場研修を経て現在は営業本部長付として技術サービス課で連日油まみれに



MVC-90R型ブロックプレート 誕生



モザイク状の形をしたコンクリートブロックを使ってつくられた、ちよっとしやれた感じの歩道などが駅前や広場や高速道路のパーキングエリアなどで見かけるようになりました。このモザイク状のコンクリートブロックを敷き並べて締め固める工事に使うブロックプレートができて、既に各地でご使用頂いております。このブロックプレートMVC-90R型はプレートコンパクターとして高い評価を得ているMV

C-90型をベースに、ブロックの締め固め専用機として手を加えられたもので、輻圧盤の下に硬質ゴムで作ったローラーを四本並べて連結したものが取付けられています。これをモザイク状のコンクリートブロックを並べた上を振動をかけて前後に走らせるとスピーディーにしかもきれいに仕上がる

ことができます。ローラーは硬質ゴム製なのでブロックを傷めることはありません。

MVC-90R型 仕様

機体の寸法 ()内はハンドル含む	
長	564mm (1,160mm)
高	642mm (695mm)
幅	757mm
ゴムロール	556mm
リ	84mm
振動	5,800V.P.M
動力	1,550kg
エンジン	ロビン EY20D
	5PS 4サイクル
	リコイルスターター付
重	160kg
量	

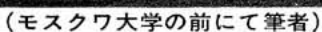
盛大に行なわれる

(展示会場正面入口)

最終日という事で、来客も地方の方より都内の方が多かった。又時間が午後三時半で終了という事を知らずに来られた方が多く、各小間の展示品をユックリ回るといふ余裕がなく、カタログを集めるという気配の方が多く見かけられた。特に三笠の小間に於いては、新製品が多いという事で、ユーザー、ディーラーの方のみならず、メーカーの営業員らしき方々のカタログ集めの標的になった様であった。ディーラーの方は、顔見知りの三笠営業員に気入りの新製品

第2回 モスクワ

の前にはデスクがあり、管理人の中年女性が日曜・祭日なし



(无)

みせずに第二日目も始まった。本日もスケジュール

浜名湖めぐりの旅

みせずに第二日も始まったのでした。本日もスケジュールは

(中田島大砂丘にて)



Downloaded from <http://www.jstor.org/stable/2346192> on Tue, 20 Jun 2016 12:01:04 UTC
All use subject to [JSTOR Terms and Conditions](#)